

日 絹 月 報

平成26年12月号 第453号

発行：一般社団法人日本絹人繊維物工業会

日本絹人繊維物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 第15回SCM経営トップ合同会議開催
2. JFW-JAPAN CREATION 2015ファイナルレポート
3. 第4回日中韓繊維産業協力会議
4. 第87回繊維通商問題研究会の開催
5. セーフティネット保証5号の対象となる指定業種

◇ 第15回SCM経営トップ合同会議開催 ◇

繊維ファッションSCM推進協議会主催による「第15回経営トップ合同会議」が平成26年11月12日(水)にTOC有明コンベンションホールで開催された。会議には「経営トップ合同会議」参加企業67社の経営トップ、経済産業省の小川審議官、寺村繊維課長、オブザーバーとして企業、業界団体等約130名が参加した。

冒頭に、馬場会長から「この『経営トップ合同会議』は、平成15年に立ち上げ、12年目を迎えた。当時は、長年に亘って、取引の不公平から生じた様々な問題が山積しており、これを解決しなければ繊維産業のSCMは成立しないとの思いから立ち上げた機関が『経営トップ合同会議』である。当会議のルールは、『繊維産業における様々な課題について、SCM構築を目的に、時代に対応する取引のルールを策定する役割を担う。参加企業は、経営トップの責任において、策定された取り決めについては実践・実行することの義務と責任を持つ』ということである。一例として、この会議で「取引ガイドライン」を策定したことにより、企業間の基本契約書の締結は今では当たり前になっている。平成22年には、『歩引き』取引の全廃について、各社が実行することを決議した。その後、皆様の努力により、一定の成果を挙げてきた。」と挨拶があった。

来賓の経済産業省の小川審議官から「日本の繊維産業は江戸時代からの伝統ある産業であり、川上から川下まで大変長い段階があるという特徴があり、サプライチェーンの健全化や取引を実現することが業界全体にとっても共存共栄につながるものと思う。その中でも適正取引を推進していくことは大変重要で、特に、昨今の円安や輸入価格の高騰の中、価格を適正に転嫁する意味でも協議会の役割は重要であると考えます。また、協議会の作成

したテキスタイル、アパレルなどの取引ガイドラインに基づく取引慣行の是正等や様々な指導や育成など業界内で実行しており、取引慣行改善を進めていることについて感謝したい。経済産業省としては取引慣行の改善は大切と思っており、今回も『下請取引適正化推進のガイドライン』の改定なども行っている。取引慣行の改善、適正化については政府としても今後とも推進するので皆様にご協力願いたい。」との挨拶があった。

会議では、5月から7月に実施された各社への聴き取り調査報告、「2014-TAプロジェクト」情報化分科会及びユニフォーム分科会の活動報告がされ、引き続き課題を整理し解決に向けた取り組みを進めることで合意致した。

◇ JFW-JAPAN CREATION 2015 ファイナルレポート ◇

日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）主催の「JFW-JAPAN CREATION 2015（JFW-JC 2015）」、（併催「Premium Textile Japan 2015 Autumn/Winter（PTJ 2015 AW）」）が11月5日～6日の2日間、本年も有楽町の東京国際フォーラムで開催された。国内唯一の繊維総合見本市であるJFW-JC 2015は、269社（219.4小間）がホール1（3,000㎡）に出展した。今回は昨年以上に国産素材の見直し機運が高まり、来場者も昨年同様の約2万人が詰めかけたことで、会場全体が明るく活気あふれる2日間となった。

会期：2014年11月5日（水）～6日（木）

会場：東京国際フォーラム ホール1（3,000㎡）

主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構、JFW テキスタイル事業運営委員会

後援：経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、日本繊維輸入組合/日本繊維輸出組合

【来場者】

前年開催の好評価を背景に、今回は19,889人の来場者数（昨年：19,681人）を記録した。今回は、産地展の中では最大規模の尾州マテリアル・エキジビション展と会期が重なり、また、今回から日本企業も参加するヨーロッパ・テキスタイル・フェアが翌週に開催されたが、影響を受ける事なく前年を上回る来場者を得た。来場者の内訳では、非バイヤー（プレス、関係者・団体、Visitor・その他）の合計が、4,167人（前年比80%）となり、バイヤー（アパレル・小売、問屋・商社等）の合計が1,237人増の15,703人（前年の108.5%）となっている。この結果、PTJ/JFW-JC 合算でもバイヤー比率は80%（前年73.5%）となり、特にPTJでは86%を超えている。

「JFW-JC2015」「PTJ2015AW」総来場者数

	問屋・商社・ 企画会社他	アパレル、 小売	プレス	主催関係者・ 関係団体	Visitor/ その他	Student	各合計	総来場者数
JFW-JC2015	8,256	7,447	193	27	1,263	1,029	18,215	19,889
PTJ2015A/W					1,674		17,597	

*注：総来場者数はPTJ、JC 何れにも来場された方を1名とカウント(故に、各展示会合計の合算数と総来場者数は一致しない)

【運営】

昨年は予想以上の来場者が殺到し、受付にて長蛇の列を作ってしまった。また、例年使用しているロビーギャラリーが今回は使えない事から、ホワイエだけで如何に混乱なく入場受付をするかが運営上の最大のポイントだった。その対策として会場入口の増設、団体受付の新設、誘導員の増員、受付業務の簡素化の他、登録バイヤーへのパスの事前送付を実施。結果、初日朝のオープン時に一時的に混雑したが、後はスムーズな入場が出来た。やはり、今回より導入したパスの事前送付による効果が大きく、PTJ来場者の約半数がパスを持参して来た。

■ JFW-JAPAN CREATION 2015

□ 出展状況：269社／219.4小間（昨年：261社／225小間）

ゾーン	申込み件数	総参加企業・団体数	小間数
テキスタイル（国内）	51	158	107.6
テキスタイル（海外）	12	41	41
繊維関連・製品	5	9	12
毛皮・皮革	5	40	43.8
服飾資材	9	19	14
Media Stand	2	2	1
合計	84	269	219.4

*海外出展者：韓国1件19小間、台湾5件19小間、中国2件2小間、タイ1件1小間

□トレンド&インデックス（JC）コーナー

今回は9月の「THE Japan Observatory」at Milano Unica、10月のIntertextile上海「Japan Pavilion」と同様に、天井部分に軽量ボードを多用し、壁面パネルをくぐって別シーンへ切り替わるコンパクトな空間を演出した。

≪トレンド展示点数≫634点

・時空詩魂173点／渋カワイイエッセンス159点／香華165点／アートフルコラージュ137点

≪JC インデックス展示点数≫175点

■ Premium Textile Japan 2015 Autumn/Winter

□ 出展状況： 68社／93.5小間（昨年：64社／90小間）

ゾーン		件数	小間数
A	織物短繊維（コットン、麻、ウール、複合）	25	30.5
B	長繊維（化合繊、シルク、機能素材、複合）	19	31
C	染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	15	16.5
D	服飾資材、ニット、撚糸、パイル	9	15.5
合計		68	93.5

*内 海外出展：2社2小間（香港、インド）

□ PTJインデックス・コーナー

PTJ出展ゾーン別（A、B、C、D）に、今シーズンの各社一押し素材をインデックスして編集・展示。来場者を各社ブースへ誘引した。

展示数：246点（テキスタイル181点、服飾資材65点）

■ 平成27年度 JFW テキスタイル事業実施予定

【海外】

□「The Japan Observatory」

at Milano Unica 2016 Spring/Summer

◇ 日時：2015年2月4日（水）～6日（金）9：00～18：30

◇ 場所：Fiera Milano City Hall3

□Intertextile 上海 Apparel Fabrics Spring Edition 2015

「Japan Pavilion」2015 Spring Edition

◇ 日時：2015年3月18日（水）～20日（金）9：00～17：00

◇ 場所：中国博覧会館総合体

【国内】

□Premium Textile Japan2016 Spring/Summer

◇ 日時：2015年5月27日（水）～28日（木）

◇ 場所：東京国際フォーラム 展示ホール2

□JFW—JAPAN CREATION 2016

◇ 日時：2015年11月25日（水）～26日（木）

◇ 場所：東京国際フォーラム 展示ホール1

□Premium Textile Japan2016 Autumn/Winter

◇ 日時：2015年11月25日（水）～26日（木）

◇ 場所：東京国際フォーラム 展示ホール2

◇ 第4回日中韓繊維産業協力会議の開催 ◇

11月20日、大阪において第4回日中韓繊維産業協力会議が開催された。

会議では、「各国の繊維産業の現状」「日中韓F T A」「繊維産業の環境・安全問題」「アパレル・ファッション産業協力事業」について、意見交換が行われた。本会からは荒井理事長が参加した。

日本側の繊維産連下村会長は冒頭のあいさつで「繊維先進国である我々日中韓三カ国が、事業環境認識を共有しながら、将来に向かって繊維産業の発展のための課題・協力策などを率直に話し合う意義の大きさは計りしれないものがある。

世界の経済は、米国経済の回復基調が強まっているものの、欧州経済の低成長が顕著になり、今まで成長の主役であった振興国も潜在成長率が低下といった壁にぶちあたり、先行きは未だ予断を許さない状況である。

その中で日本は、2012年末の政権交代後、安倍政権のアベノミクス効果で景気は基本的に回復基調で推移してきたが、今年に入り4月に消費税増税があり、景気はスローダウンしている。

一方で、繊維産業の事業環境全般に目を向けると、生産面では一部に回復の動きがあるものの、リーマンショック前の水準には程遠い状況が続いている。さらに円安傾向に推移したことによるエネルギー等のコストアップで、採算面でも非常に厳しい状況に陥っている。

しかしながら、日本ではデフレ脱却へ向けて様々な施策が打ち出されており、我々繊維産業界にとっては、消費者の本物志向が高まっている中で、日本の技術力、あるいは意匠力を発揮した高付加価値品をマーケットに訴求できる絶好の機会になっている。

また、現在日本を巡って交渉が進んでいるT P P、日E U E P A、R C E Pなどの広域経済連携交渉は、輸出拡大の大きな足掛かりとして、世界市場に向けた商流をさらに拡大できるチャンスであると考ええる。

我々繊維業界にとっては、現在の貿易の実態そして今後の市場拡大という戦略的な面からも、交渉中の広域経済連携の中でも日中韓F T Aこそが、最も重要なF T Aであると考えている。

これまでの欧米キャッチアップの思考ではなく、これからは世界を引っ張っていく責任と気概を持って、行動していかなばならない。」と述べた。

日中韓繊維産業協力会議を実効性の高いものにするため、以下の点について合意に至った。

1. 日中韓三国繊維業界は、日中韓F T Aの重要性を確認し、専門家委員会を通じて情報交換を進め、マーケットアクセス、原産地規則に関するそれぞれの考え方を整理し、

報告書を取りまとめた。今後、本年の報告書をベースにして、主要な課題についてそれぞれの立場を明確に理解した上で、日中韓三国繊維業界の共通の理解を築き上げることに合意した。

2. 日中韓三国繊維業界は、グローバルな繊維・ファッション市場に対する環境・安全問題の重要性を認識し、専門家委員会を通じて情報交換を進め、各国の法規制や規格の情報、国際機関および民間企業連合等の情報を報告書に取りまとめた。今後は専門家委員会のさらなる情報交換を通じて、環境・安全問題の共通の認識を目指して、一層の調査研究を行うことを合意した。

3. 日中韓三国繊維業界は、グローバル市場における日中韓三国ファッション産業の影響力を最大限に高めるために、協力事業の第1弾として北京ファッションウィークに参加した。今後はさらなる協力事業の実現に向け、展示商談会やビジネス交流活動などの事業を実施していくことに合意した。

4. 日中韓三国繊維業界は、さらなる緊密な交流と協力の必要性を認識して、2015年11月に第5回日中韓繊維産業協力会議を中国で開催することに合意した。その準備のために来春、韓国において実務委員会（WG）を開催する。

◇ 第87回繊維通商問題研究会の開催 ◇

第87回繊維通商問題研究会が12月2日（火）に開催され（1）日本の繊維貿易の現状（2）各国とのEPA交渉の状況（3）EPA産業協力の状況（4）第3回日中韓繊維産業協力会議等について説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

（1）輸出入全般の動向

①平成26年1月～9月累計及び9月の現状

- ・円ベースでは、輸出は前年同期比106.1%、輸入は同102.2%。
- ・輸出（円ベース）は、昨年3月より前年比プラスが続いている。

項目	平成26年9月				平成26年1月～9月			
	金額		前年同月比		金額		前年同月比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	74,647	697	108.7%	100.7%	673,430	6,546	106.1%	99.9%
輸入	460,371	4,299	105.0%	97.3%	3,122,263	30,269	102.2%	96.0%

②繊維品別輸出入実績（平成２６年１月～９月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	109.7%	繊維原料	103.1%
糸類（紡績糸・合繊糸）	106.3%	糸類（紡績糸・合繊糸）	112.8%
綿糸	111.8%	綿糸	119.5%
毛糸	102.4%	毛糸	101.4%
合繊糸	108.0%	合繊糸	115.8%
織物	100.5%	織物	109.1%
綿織物	96.1%	綿織物	104.5%
毛織物	107.7%	毛織物	102.7%
合繊織物	98.9%	合繊織物	114.5%
二次製品	109.0%	二次製品	101.6%

（２）各国・地域別輸出入の動向

①輸出（平成２６年１月～９月累計及び前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）１０５．３％、米国１１３．６％、欧州１１１．９％引き続き堅調に推移。
- ・中国は、累計で９８．５％、９月単月も１０９．０％となっており、同期比では４月以降マイナスが続いているが、同月比では３月以降６ヵ月振りに前年度実績を上回った。
- ・アセアン主要国は引き続き好調を維持。全体では１１２．３％ベトナム１１０．７％、インドネシア１１７．６％、ミャンマー１１８．９％。アセアンのシェアは２２．３％（前年比＋１．３％）まで拡大。

②輸入（平成２６年１月～９月累計及び前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）１０１．９％、米州１０４．１％、欧州１０７．６％。
- ・中国は、累計で９６．８％、９月単月も１００．１％となっており、同期比では５月以降マイナスが続いているが、同月比では４月以降５ヵ月振りに前年度実績を上回った。
- ・アセアン全体では１２１．５％。中でもミャンマー１４３．０％、ベトナム１２３．１％、インドネシア１１０．５％と、大幅な高水準を保っている。
- ・バングラデシュも１２１．６％と堅調が続く。

２．次回日程について

第８８回繊維通商問題研究会は、１月２２日（木）１４時～１６時

◇ セーフティネット保証5号の対象となる指定業種 ◇

(平成26年度第4四半期)

経済産業省は、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者の資金繰りを一般保証とは別枠で、融資額の100%を保証する制度である「セーフティネット保証5号」について、平成26年度第4四半期に対象となる業種を指定し、公表した。

1. 制度概要

セーフティネット保証5号とは、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者であって、経営の安定に支障が生じていることについて、市区町村長の認定を受けた中小企業者が以下の条件で信用保証協会の保証を利用できる制度。

【企業認定基準】

指定業種に属する中小企業者であって、以下のいずれかの基準を満たすこと。

- ①最近3か月間の売上高等が前年同期比で5%以上減少している中小企業者。
- ②製品等原価のうち20%を占める原油等の仕入価格が20%以上上昇しているにもかかわらず製品等価格に転嫁できない中小企業者。

【保証限度額等】

保証限度額：一般保証とは別枠で、無担保保証8千万円、最大で2億8千万円

保証割合：借入額の100%

保証料率：0.7～1.0%（保証協会所定の料率）

2. 平成26年度第4四半期の指定業種

【1159】その他の繊維粗製品製造業（製経業等）

<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141209004/20141209004.html>

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報（全国版） ◇

中小機構では、J-Net21 スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されているWEB情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することが出来ます。

中小機構ホームページ <http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>

(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)

(公募中案件)

2014/12/11 掲載

割賦支払／賃料支払に係る手続き（中小企業基盤整備機構）

10月9日、割賦制度の利用が更新されました。割賦制度を利用すると、初期投資の負担が軽減されます。

2014/7/3 掲載

平成26年度 中小企業者向け消費税転嫁対策に関する講習会 開催機関募集
(中小企業基盤整備機構)

中小企業者が円滑かつ適正に消費税を転嫁できる環境を整備することを目的に、認定経営革新等支援機関の皆様が講師となる中小企業者向けの【消費税転嫁対策講習会】の実施をサポートします。そこで、「消費税転嫁対策特別措置法」の内容およびそのガイドラインに係る講習会を開催できる、認定経営革新等支援機関を募集します。

2014/5/13 掲載

労働時間等設定改善推進助成金（厚生労働省）

傘下の中小企業事業主に対し、「労働時間等の設定の改善」を推進するために、相談、指導、その他援助の取り組みを行った事業主団体（連合団体含む）に対して、その実施に要した費用の一部を助成するものです。

2014/5/7 掲載

受動喫煙防止対策に関する職場内環境測定支援（たばこ煙濃度等の測定のための機器の貸与）（厚生労働省）

たばこ煙の濃度及び喫煙室の換気の状態を把握し、職場における効率的な受動喫煙防止対策を行うために必要な測定機器として、デジタル粉じん計及び風速計の無料貸与を行います。また、機器の使用方法や結果の評価方法について、電話で相談を受け付けるほか、機器に不慣れな事業場などについては、実地に赴いて技術者が測定を行います。平成26年度から、機器の送料も無料になりました。

2014/5/7 掲載

受動喫煙防止対策助成金制度（厚生労働省）

中小企業事業主喫煙室以外での喫煙を禁止するために喫煙室を設置などする取組みに対し助成することにより、事業場における受動喫煙防止対策を推進することを目的としています。平成26年度の申請受付は4月1日から開始しています。

・募集期間：2014/4/1 -

2014/4/18 掲載

中小企業基盤整備機構の賃貸施設入居に関する申込者紹介制度
(中小企業基盤整備機構)

取引先事業所の閉鎖等の影響により売上減少が見込まれる中小企業・小規模事業者が実施する新たな取引先を開拓するために必要な市場調査や試作開発及び事業実施に必要な設備投資等に要する経費の一部を補助することにより、中小企業・小規模事業者の振興と経営の安定に寄与することを目的とします。※予算額に達した段階で公募受付を終了します。
・募集期間： 2014/4/1 - 2015/3/31

動 向

- 11月25日 繊維評価技術協議会 第31回理事会
- 12月 1日 大日本蚕糸会 純国産絹マーク審査委員会
- 12月 2日 日本繊維産業連盟 第87回繊維通商問題研究会
- 12月11日 当会 正副会長・正副理事長会議
- 12月12日 日本繊維産業連盟 常任委員会
- 12月17日 関東経済産業局 「絹のみち広域連携プロジェクト」キックオフ会議
- 12月19日 繊維産業流通構造改革推進協議会 平成26年度第2回取引改革委員会

会議予定

- ☆ 東京織物卸商業組合 新年賀詞交歓会
1月 5日（月）11時30分 ～ 於：綿商会館
- ☆ 大日本蚕糸会 新年賀詞交歓会
1月 7日（水）11時 ～ 12時 於：蚕糸会館
- ☆ 日本絹人織織物振興連盟 監査会
1月 9日（金）11時 ～ 於：日絹会館
- ☆ 日本繊維輸出(入)組合 平成27年新年賀詞交歓会
1月 9日（金）17時 ～ 18時30分 於：東京會館
- ☆ 日本アパレル・ファッション産業協会 新年会
1月14日（水）18時 ～ 於：ホテルニューオータニ
- ☆ 日本繊維機械協会 平成27年新年賀詞交歓会
1月15日（木）12時 ～ 13時30分 於：東海大学校友会館
- ☆ 日本繊維産業連盟 役員総会、新春講演会並びに新年賀詞交歓会
1月15日（木）役員総会 14時30分 ～ 17時
新春講演会 17時10分 ～ 17時50分
賀詞交歓会 18時 ～ 19時30分 於：東京プリンスホテル
- ☆ 商工中金 東京支店中金会 平成27年 新年合同賀詞交歓会
1月15日（木）18時30分 ～ 20時 於：東京プリンスホテル

☆ 当会 新年総会

1月16日（金）正副会長・正副理事長会議 11時～

臨時総会 12時～

振興連盟通常総会 13時～ 於：ホテルグランドパレス

☆ 日本繊維産業連盟 第88回繊維通商問題研究会

1月22日（木）14時～16時 於：繊維会館

イベント

☆ 欧米向けテキスタイル輸出展示商談会

1月 7日（水）～ 8日（木）9時30分～17時30分

会 場：JETRO本部5F 展示会場

☆ 2015 西陣織展

1月28日（水）～31日（土）10時～17時（最終日 16時まで）

会 場：西陣織会館 3F・5F・6F

☆ Intertextile 上海 Apparel Fabrics Spring Edition 2015

3月18日（水）～20日（金）9時～17時

会 場：中国博覧会展総合体